

新年明けましておめでとうございます。昨年中は格別のお引き立てを賜りまことにありがとうございます。本年も昨年同様のご愛顧を賜りますよう謹んでお願い申し上げます。今年は社員一同初心に帰り、顧客第一主義に徹し皆様のお役に立ついい仕事をモットーに精一杯励みますので、たくさんの宿題を出してくださるようお願いいたします。

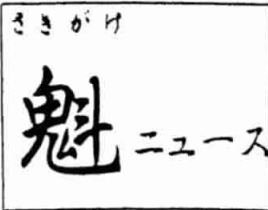
日本の経済はバブル崩壊後迷走を続け、国力は徐々に低下の道を進み、前途に不安を抱かせるものが激増しています。自殺者の増加、若年失業者の増加、凶悪犯罪の増加、裏腹に出生率の低下、犯罪者検挙率の低下等々、人心に不安を与えるものが多すぎます。政治家は選挙のことだけ気にかけて、官僚は保身に走り、まったく彼らに期待できるものはありません。たとえば財務官僚が考えていることは公の財政破綻を民の財で繕うことだけ、その手をあれやこれやと策を練り、進めていくことに知恵を絞っているのです。700兆の借金は1200兆の民の富を吸い上げればゼロにできるのですから。残念なことにアメリカの傘の下、勝手なことが許されず、しかもデフレスパイラルが大きな障害になって、小手先だけのことに終始しているのです。

国家も企業も活力の源は人にあります。人が元気を出していなければ国も企業も衰えていくばかりになります。国政をつかさどる人に元気を与えてくださいと願っても無理なことにははっきりしていますから、今はわれわれ一人一人が自分の前途に目標を立てそれに向かっていく勇氣と元気をもつことが何より必要なことだと思います。元気を出して汗をかき、知恵を出し、人のお役に立つ仕事をすれば、回りまわって自分に帰ってくると確信し行動するのみです。未年は辛抱強く耐えていくことが肝要と言われます。迷える羊とは群れから離れた羊の苦しみを救う神の愛の話だが、迷ったままでは困るがさりとて群れの中で安穩としていることが許されるほど甘い時代ではない。群れから離れて孤になっても生きていく勇氣を持つ羊がたくさんいる群れのように、日本の国も企業も勇氣と元気のある人がたくさんいる集団になっていかなければならないのです。耐えることも必要ですが、もっと大切なことは元気を出して勇氣を持って行動することです。

最後に、みなさまのご健康と会社のご繁栄を、そしてこの一年がよい年でありますようお祈り申し上げます。

☆ 1月の魁基準建値は232円/kgです

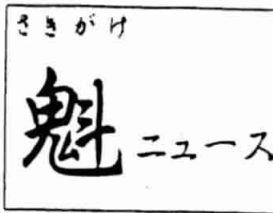
12月の電気銅建値は2～15日240円16～31日230円で推移し平均銅価は235円でした。1月の電気銅建値は230円でスタートしました。したがって1月の平均銅建値は $(235+230) \div 2 = 232,50$ 円未満切捨て232円になります。価格帯は250円以下の欄で変わりません。石油や金など上昇志向の商品が増えてきていますが、銅やアルミの価格はどのような展開をするのでしょうか。生産調整による在庫の減少傾向がうかがえますが、需給逼迫にはいたらず本年前半は低迷状態が続くのではないのでしょうか。



シベリア大陸から日本の上空へ降りてくる大寒波の猛威を体験し震え上がった先週だったが、立春を迎えこの寒さも日ごと和らいでいくことだろう。自然の営みは確実に先送りはない。百花の魁、梅花がほころび、草木が芽吹き始める。しかるに、景気はますます冷え込み、どうしようもないところまでできてしまっている。お隣の中国はポカポカ陽気で、タダみたいな人件費で安く作れるから、工場を移転したり、事務系の業務も委託したり、コスト引き下げのため、将来のことには目を瞑って日本の国の空疎化が進められている。個々の企業がリスクを背負って進めることは、企業存続のため必要な戦略であり、そのことはとやかく言う事ではないが、マクロで考えればそのスピードの速さが日本経済に大きな影響を及ぼしている。海外資本を受け入れアジア諸国が発展することが、日本にとってもいいことであるようにするには、加工貿易立国から高度技術開発能力に秀でた国に転換していかなければならない。戦後の廃墟から復興を図ったとき以上のエネルギーを注ぐべく、官民挙げて取り組むべきであり、一方恵まれた自然と歴史が築き上げた日本独自の文化を資源として、観光立国化を促進すべきである。先進技術と観光資源、この2本柱で世界から人や金がよってくるようにしなければ日本の未来はないといえないだろうか。誰もが思っていることだが、政治家は選挙のことばかり気にし、官僚は保守に走るだけで、改革は小泉首相の一人相撲で、遅々として進まない。今日から個人向けに国債を1万円単位で売り出すが、国家予算の約半分近くを国債で調達しなければならなくなっている国の財政状態、GNPの2倍になった地方自治体もあわせての国の借金、そんな国の国債は世界から買ってもらえず、銀行も今までで精一杯になり、とうとう中央銀行の日銀に買い取らせ始めた。そんな国債をこのたびは国民に売ろうとしているが、将来値下がりする確率の高い、信用度の低い借金証文書（流通はするが）には手を出さないほうが無難であろう。蛇足だが、郵貯から出ている財政投融资資金も多数の第3セクターの破綻で焦げ付き回収のめどが立たないものが増えている。国はお金をなんぼでも印刷できるから金融システムの秩序をたもつかぎり倒産しないが、民間企業ならとくに倒産している財政状態であることを忘れてはならない

☆ 2月の魁基準建値は241円/kgです

1月の電気銅建値は6~22日230円、23~31日240円で推移し平均銅価は233円68銭でした。2月の電気銅価格は250円でスタートしました。したがって2月の魁基準価格は $(233,68+250) \div 2=241,84$ 円未満切捨て241円となります。価格帯は250円以下の欄で変動はありません。



春時雨を待っていたかのように、枯れ草のまにまに土筆が顔を出してきている。春一番もふき、確かな足取りで春が近づいてきている。奈良の東大寺ではお水取りの行が始まっている。このころ、寒の戻りが来て春は名のみと震えることも時にはあるが、ほんのひと時のことだ。やがて鶯の初音も聞かれ、小鳥たちのさえずりもにぎやかになるだろう。

春の生気を感じ、胸いっぱい吸い込んで、春を喜び、楽しみたいものだ。

イラク問題。ブッシュ大統領の顔を毎日テレビで見るが、だんだんこすく見えてきたと感じる人が増えてきているのではないだろうか。20年前、イランの親米政権がイスラム革命で崩壊してから、イラクのフセイン政権に肩入れし、ロケットや化学兵器の原料を売ってきたのはほかならぬアメリカだった。油田地帯の中近東がイスラムの支配下になるのを防ぐこと、イスラエルの平和のためであった。イ、イ戦争の後、イラクは世界第2位の生産量を持つ石油を武器にアメリカ一辺倒にならずロシアやフランスとも付き合う方向に転進し、石油を売り見返りに武器や食料を買う方向へ進んだ。最近中国とも仲良くしている。大量の石油を消費するアメリカがイラクの石油に関してはロシアをとおして買わねばならなくなっているのが、実に不愉快な思いをしているのである。ブッシュ大統領がプーチン大統領にイラクに保有するロシアの採掘権を保障するから、イラク攻撃の了解を願いたいとロシアを訪問し、イギリスにフセイン政権反対派を集め、フセイン打倒後の体制作りの後押しを進めているのも、目的はただひとつイラクを親米国に塗り替え、石油を安く大量に確保すること、さらに20ないし30年後を見据え米国にとって最大のライバルになると見ている中国の中近東への進出を食い止めておきたいのである。アメリカが強引にイラク攻撃を開始しフセインを追い出すことができても、はたしてイラクがアメリカの思うようになるか少しばかり疑問が残る。イラク北部のクルド民族やイスラムスンニ派も反政権では共通しているが必ずしも親米とはいえない。アメリカの姿勢に一貫性がないことを過去嫌というほど見てきたからだ。反政権側がアメリカの力を借りたいという姿勢にも大いに問題があり、アメリカのみをせめられないが、自国の都合で他国に干渉していくことを続けていけば、親しい友も離れていく。そうならないためにもアメリカの良識と自制心に期待したいものである。

☆3月の魁基準建値は240円/kgです

2月の電気銅建値は3～5日250円6～28日240円で推移し平均銅価は241円56銭でした。3月の建値は240円据え置きでスタートしました。したがって3月の魁基準建値は $(241,56 + 240) \div 2 = 240,78$ 円未満切捨て240円となります。価格帯は250円以下で変わりません。

さきがけ

魁ニュース

桜前線があしばやに北上を始めて、この週末、関西地方は絶好の見ごろになりそうである。2年前、吉野を訪れた。下千本が散り、中は花吹雪、上が満開のころだったが、見上げれば谷から稜線へかけて全山が桜色に染まり、その華やかな美しさに言葉を失うほど感動したものである。よく見れば所々若い苗木が植えられており、古から今日まで多くの人々の地味な努力が連綿と続いてきている事を偲ばせる。だからこそ、1300年を経ているまなお、人をひきつけて止まないのだろう。

熱砂の嵐が吹くイラクで、圧倒的な軍事力を誇る米英軍が苦戦している。短期戦で決着がつく読みが外れ、執拗なイラクの抵抗にあい、兵力の増強を強いられている。フセインを殺せばすべては片付くほど単純なものではなく、この戦いは文明発祥の地を焦土化するところまで続くのではなかろうか。イスラム教を信仰する国民を多く抱える国々は心情的にイラクに近く、イスラエルをめぐる紛争に解決のめどもたたず、中近東をめぐる争いの種は静かに大きく膨らんできている。平和は繁栄をもたらすが戦いは貧困を招く。米英に手のうちどころを間違わないようお願いしたいものである。

話は変わるが、藤沢周平の小説を山田洋二監督が脚色演出した「たそがれ清兵衛」をご覧になりましたか。幕末のころ、山形の小藩の下級武士を主人公にした話で、昨年の映画賞を総なめにした佳作である。清兵衛は五十石手取りは三十石の薄給で、労咳で妻を亡くし薬代や葬式の費用で借金を抱えその返済のため夜なべの内職をしながらもうろくした母親の面倒を見、2人の姉妹を育てている。仕事を終えたら職場の同僚の誘いを断りさっさと帰るのでたそがれ清兵衛と陰口をたたかれているが、家に帰ればまき割りや畑仕事、粗末な食事の後は内職と忙しいから付き合っておれないのである。亡くなった妻は少し暮らし向きがよいところから来たので清兵衛に出世なされませとよく口に出し願っていたが、仕事もでき剣の腕も立つが出世欲もなく、親戚筋からの後添えの話も辞退し、可愛い2人の姉妹の成長を楽しみに暮らしている。幼馴染で同じ城務めの親友が妹の嫁いだ先の主人が酒乱で暴力をふるうので筋を立て離婚させ引き取っていたが、ある夜酒乱の元の夫が兄のところへ因縁をつけにくる。居合わせた清兵衛は非力な友達に代わり決闘の相手になり、真剣を振るう相手を棒切れで失神させる。これから後の筋書きは見てのお楽しみに省くが、最後立派に成長し東京で暮らす娘が故郷の父と義理の母親の眠る墓にまいり、藩が佐幕派だったので官軍と戦い弾に当り命を落とし一家の幸せは3年で終わるが、義理の母は東京に出て働き二人の娘を立派にそだててくれた。すてきな父だったと墓前で述懐する。

「たそがれ清兵衛」のはなしを出したのは他でもない。権力争いの醜さ、非情を実にさりげなく語っていると思ったからである。

☆ 4月の魁基準建値は235円/kgです

3月の電気銅建値は240円で終始しました。4月の電気銅建値はイラク戦争の長引く様相に米国経済が悪化すると見て下がり、230円で始まりました。したがって4月の魁基準建値は $(240+230) \div 2 = 235$ 円になりました。価格帯は変わらず250円以下の欄で変わりません。

さきがけ

魁ニュース

若葉が光り萌えている。若い命の輝きがまぶしいほど美しい。小鳥たちの囀りも一段とかまびすしい。自然からのすばらしい贈り物を大いにエンジョイして若い命の息吹を胸深く吸い込む。気のせいか体の硬さが少しほぐれたように感ずる。

お隣中国は SARS 騒動でマスクをして深呼吸どころでない。広州交易会は昨年秋の 4 分の 1 の成約に終わったらしく、これからさまざまな分野でおおきな影響が出てくるであろう。中国との取引が大きい日本にとっても気がかりなところである。5 月 1 日から 5 連休になるので、本来なら出稼ぎに来ているものが農村へ帰る大移動が始まるが、今年は伝染の拡大を懸念し禁足令が出ていると聞く。はやく下火になって治まって欲しいものである。

話は変わるが、このゴールデンウィークはタイガースファンにとって、すばらしい文字通りの黄金週間になりそうだ。甲子園球場に響く 5 万 2 千人の声援が 10 人目の選手となって相手チームを圧する。負けていたら去年だったらテレビのチャンネルをかえていたのに、今年はまだまだワカラヘンデと声援する。この夏の関西のビールの販売量は去年より伸びること間違いなしである。春の珍事に終わらず、優勝すればファンには苦節 18 年ぶりの優勝である。今期に入っても売り上げの減少傾向に歯止めがかからず、こちらも苦節 9 年の身であるが、懐をはたいて紅白饅頭を段取りする日が今年こそと願うのである。

☆ 5 月の魁基準建値は 230 円/kg です

4 月の電気銅建値は 230 円で終始しました。5 月も 230 円でスタートしました。したがって 5 月の魁基準建値は $(230+230) \div 2 = 230$ 円となります。価格帯は 250 円以下の欄で前月同様変わりません。

さきがけ

魁ニュース

気象衛星の観測精度が向上し、出勤のときに傘を携帯すべきか否か迷わずにすむようになって久しいが、先月末に上陸した4号台風は昭和40年以来38年ぶりの5月の訪れでその予報に週末の約束をキャンセルされた方が多かったのではなかろうか。30日の時点で31日は近畿地方の沿岸部が最大500ミリ内陸部が300ミリの降雨量になると予報されていた。これは大層な雨台風だ。屋外でするすべての行事は30日の時点で中止順延を決められたところが多かったのではなかろうか。関西では夜半から雨が降り始め風もかなり強く吹いた。31日の朝の天気予報は宇和島から瀬戸内海をまたぎ広島に上陸し近畿地方もこの影響で100乃至200ミリの雨の降る恐れがあると報じていた。ところが31日は夜来の雨も上がり雲が切れ、その切れ間から朝日や青空が顔を覗かしている。風は少しあるものの弱まるとともに青空が広がっていった。台風情報とはまったく異なる気象の動きである。最近の気象予報は非常にきめ細かくなり予報の精度も高まっているが、台風だけはなぜかその予報が大まかである。人災の発生を防ぐために、オーバーにそして広範囲に予報を出すようになっているのだろうか。予報というより警報という面を重視しているのだろうか。5月に上陸した4号台風は近畿地方では予報と実際のずれが大きかったのも、こんなことを思ったしだいである。

生命保険会社の決算がいっせいに発表された。株価の評価損が増大し、経営の健全性を示す支払い余力（ソルベンシーマージン）比率が低下している。まさかに備えてかけてきた保険がどうなっているのか、契約のときにもらった設計書と今解約したらどれだけ戻ってくるか問い合わせて照合すると、その落差に愕然とする。配当率引き下げが国会の承認を通り実施されたら満期の金額も変わってくる。絶対下げませんと生保はアナウンスしているが解約がさらに増え新規契約が取れなくなったら存亡の危機を迎えるからほんのことは言わない。これからどうするか、保険の種類にもよるが、生保も損保と同じようにまさかの時の備えと考え、貯蓄性を無視し補償を重視し、内容のよい信頼できる場所を選ぶことが一番大切だろう。

☆ 6月の魁基準価格は235円/kgです

5月の電気銅建値は230円で終始しました。6月は10円上がり240円で始まりました。したがって6月の魁基準建値は $(230+240) \div 2 = 235$ 円になります。魁の価格帯は250円以下で変わりません。

さきがけ

魁ニュース

今年の梅雨はまったく梅雨らしい梅雨でよく降る。そのせいか紫陽花の花の色がみどりのなかに映えひとときわ色濃く鮮やかに見える。学校の夏休みが始まるころ梅雨は明けるが、今年は猛暑の夏になる予感がする。降るべきときは降り、照りつけて暑いときは容赦なく大地を焼くほど照りつける。そのようなめりはりのきいた季節のめぐりが自然の恵みを与えてくれるのではなかろうか。関東地方では東京電力の発電供給に不安があり、需要のピークを迎えたとき大丈夫だろうかと懸念されているが、個々のビルや住宅が冷房温度を1度あげるだけで消費電力は大幅に節減されるだろうから、みなを知恵と心配りで乗り切られるものと思う。

供給不足の話から思い出したが、看護師は日本のみならず世界中で不足している。資格を必要とするから誰でもなれるものではなく、そのうえ人命にかかわる仕事だから気を緩めず、深夜労働もしなければならぬ。言うならば大変きつい仕事である。どこもが不足しているから、先進国は高賃金を武器に後進国や発展途上国から看護師を集める。先日テレビで、南アの看護師がイギリスやアメリカに母国の5倍もの高賃金に惹きつけられ出稼ぎに出て行き、集中治療室をクローズせざるを得ないほど手不足に陥っている報道を見た。見た方が大勢おられると思うが、職業上のモラルや倫理観より、自分や家族の暮らしを豊かにすることを最重要視し行動する彼女たちを誰も非難することはできない。だが、親が出稼ぎで蓄えた金で、2間だけのアパートからプール付きの豪邸に引っ越し、留守を預かる子供たちが友達を呼んで、泳いだり踊ったりエンジョイしているさまをみて、この家族に本当の幸せがもたらされていけばよいが、はたしてどうなのかなと疑念を抱いたものである。私たちの過去も自分や家族が豊かになるように一生懸命で、子供たちの成長期に家族で過ごす時間が極めて乏しかった。そのため子供に大切なことを教える親の役目をはたしていないと、わたくしはいま後の祭りの反省をしている。

いろんな問題を私たちが抱えているが、広く世界を見回したとき、われわれ日本人は極めて恵まれた水準の暮らしをしている。絶対的不足感にとらわれている人もいようが、それは別のこととして、何が本当の豊かさなのかを見つけ、後の世代の人たちに教え、残してあげねばと思うこのごろである。

☆ 7月の魁基準価格は240円/kgです

6月の電気銅建値は240円で終始しました。7月も240円で始まりました。したがって7月の魁基準建値は $(240+240) \div 2 = 240$ 円になります。魁の価格帯は250円以下で変わりません。

さきがけ

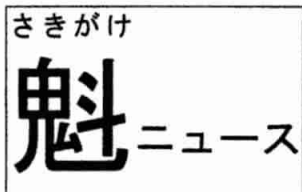
魁ニュース

西日本の梅雨明けは7月27日に発表された。待っていたかのように市街地でもクマゼミがいつせいに鳴きだしシャーシャーと騒々しい。しかし照りつける太陽、湧き立つ入道雲の空がない。この3点セットが揃って盛夏を実感するのだが、空は梅雨空、お天道さんも顔を出さない。7月の熱帯夜が1日だけだったことが過去にあったのだろうか、信じられないような冷夏の不安を抱いて8月を迎えた。夏物商戦も不発のまま、在庫の山を抱えて秋を迎えねばならなくなり、頭を抱えておられるところが多いのではないだろうか。米の作柄も心配される。1日も早く猛暑が訪れるよう神頼みする心境だが、はたしてどうなるのだろうか。

一方、阪神タイガースは連日マジックを減らし、優勝は99%間違いないといえよう。冷夏をよそにタイガースファンの多い関西は燃えている。甲子園は言うに及ばずこの球場でも満員の大盛況でファン向けのグッズの売れ行きも絶好調である。勝ったときの点数差だけ予約客の宿泊費を割引するサービスを始めたホテルで10割引つまり無料で宿泊できたラッキーな人が7月38件77人あったとか、あやかり商売の話題に事欠かない賑やかな関西である。なかなか手に入らぬ入場券だが、遠方から甲子園球場へ来る人にはそのホテルに予約を入れて、今夜の宿泊費は何割引になるかならないか、期待にドキドキハラハラしながら観戦するのも楽しいことだろう。ところが贅沢な話だが、阪神タイガースの試合をテレビ観戦していてもこのハラハラドキドキがないので、このごろ少し物足りなさを感じるのである。安定した投手陣、一番から八番まで切れ目のない3割打線、他チームを圧倒する強さ、こんな強いチームを応援することを久しく知らず、6月ごろ今年も終わったと早々に諦め、巨人が負けることに多少の癒しをおぼえる、そのような繰り返しを毎年経験してきたタイガースファンには巨人の凋落が寂しいのだ。強い敵を倒してこそ喜びも一層強いし、接戦をしいのでこそ勝利の美酒も一層おいしい。そんなわけで中日にもヤクルトにも勿論巨人にも頑張ってもらってハラハラドキドキするようなゲームをしてもらいたいと思うのである。苦い酒を飲んでる方には申し訳ないが、ずっとそれを飲んできた男の戯言と受け流していただければ幸いである。

☆ 8月の魁基準建値は250円/kgです

7月の電気銅建値は1~27日240円28~31日250円で推移しました。8月の電気銅建値は260円でスタートしました。したがって8月の魁基準建値は $(241, 81+260) \div 2 = 250, 90$ になり円未満切捨て250円になりました。非鉄金属全般に商品ファンドの買いが入りジリ高傾向が見受けられます。海外マーケットの入電に注目が必要と考えられます。



地球温暖化の影響があるのかはっきりしないが、今夏は世界のあちこちで異常気象が発生した。クーラーも日本では3割減の落ち込みになったが、ヨーロッパでは猛暑で大幅増になった。トータルでは増えているのかもしれない。このことから言えることだが、グローバルな生産体制と販売体制を進めている企業は、局部的な影響が経営全体の成績を左右するリスクが小さく、成績を伸ばしている。ダイキンは今期も最高利益を更新する見込みと元気である。自動車、鉄鋼、デジタルパーツなど、輸出の好調が国内の不振をカバーして順調である。これらの産業がマクロの経済指標を押し上げ景気回復の兆しありの政府発表に繋がっているのだろうが、建設建築に関連する業界はまったく蚊帳の外で、売り上げの落ち込みに歯止めがかからない状態である。しかしここでも大手ゼネコン5社の受注量は伸びており、企業力の差がはっきり現れてきている。シュリンクするマーケットに合わせ、メーカー間のアライアンスは進んでいるが流通においても対岸の火事と看過することが許されない事態になってきたと考えられる。メーカー系の商社はメーカーの動きにあわせすでに整理統合が進められてきているが、オーナー経営が殆どの問屋においては提携や共同化もなかなか難しい。しかし、市場のパイが縮小する非成長社会では、すべてを自社のリスク負担で、ニーズの変化に対応する投資を行うことも出来かねる。多店舗展開をはかる大手流通の安値攻勢も頭の痛い問題である。ならばどういう方向に持っていけばよいか、真剣に考え出来ることから実行に移していかないとジリ貧を迎えるのみである。経営の舵取りが本当に難しい時代に入っている。経営者としては悲観一色にならず、前途を照らす灯をかかげ、社員の志気を鼓舞することが肝要だと思う。皆様のご健闘を祈るや切である。

☆ 9月の魁基準建値は251円です。

8月の電気銅建値は1~10日260円11~31日250円で推移し平均銅価は252,85でした。9月の建値は250円でスタートしましたので9月の魁基準建値は $(252,85+250) \div 2 = 251,42$ 円未満切捨て251円となります。したがって9月の価格帯は250円超~300円以下の欄になり1ランク価格が上がります。この価格帯は昨年4月以来19ヶ月ぶりです。わずか1円の差でランクが変わり申し訳ありませんが、これは発売当初からの決め事ですから何卒ご理解とご協力をお願い申し上げます。見積もりを前月にされ今月受注されたものがありましたら、当社担当者にご相談くださいますよう併せてお願い申し上げます。

さきがけ
魁ニュース

すっかり秋らしくなって爽やかな好天が続いている。風が金木犀の香りをどこからとなくはこんでくる。見上げると空の色が一段と色濃く澄みきっていてすがすがしい。おにぎりを作って野山を歩いたらさぞ気持ちがいいだろうなあと思うが、思うだけで終わっている。加齢とともに行動力が鈍ってきているせいかもしれない。

阪神タイガースとダイエーホークスが日本一を競うことになった。大阪と福岡は盛り上がるだろう。巨人ファンの方には申し訳ないが、今年のタイガースの活躍はプロ野球界にとってはとても良かったことではないかと思う。イチローや松井選手のメジャーリーグでの活躍で日本のプロ野球の魅力が薄れ、観客動員数が減り始めていた中で、唯一満員になるのは巨人の試合だけで、他球団の経営者にとっても巨人様様の世界が続いてきていた。新人選手を獲得する場として採用されたドラフト会議も、公平なチャンスを与える初期の姿が、度重なる巨人の横槍でずいぶんいびつな形に変わってきている。巨人のおかげを受けているから、正面きって反対もできず、ここらへんは国連を軽視しているどこかの国とよく似ている。入場料の収入も巨人相手の試合と他チーム相手の試合では大きく違うだろうしテレビ放映権の収入も巨人相手と他チームでは大きく違う。ナショナルチーム（ファンが全国版）とローカルチーム（巨人以外のチーム）の放映権の価格は桁が違い、巨人は1試合当り1億円入るからそれだけで70億円の収入になる。それ以外にも入場料、広告料などさまざまな収入があるから勝つための選手獲得には糸目をつけず、ために他球団が地団太踏む思いをどれほどしてきたか想像に余りある。しかし今年、阪神タイガースのファンが増え、ローカルチームからナショナルチームになりそうな勢いをつけてきて、タイガースのビジター試合も観客がいっぱい入るようになり、他球団の収支に好影響をもたらしていることを考えたとき、巨人でもつセリーグでなく、それに負けない人気チームのあるほうが望ましいことは疑いの無い所である。話は大きく飛躍するが米ソ2極の冷戦時代とグローバル化を標榜する米国ダントツの現在と果たしてどちらが地球人類にとって好ましいのか、冷戦構造が解け平和が訪れたとは考えられない。アメリカが強くなったぶん反発するエネルギーも強まってきている。日本は東京一極集中が進み、関西の地盤沈下は著しい。公共投資が抑えられている今日、地方経済は冷え切っている。最近、プレートのせめぎ合いによる地震の発生が宮城、十勝と続いているが、東京のような集中しているところに大災害が発生したらその影響は計り知れないものになるだろう。リスクの分散化はすべてに共通して必要なことであり、効率を追求する一極集中は大きな危険と背中合わせしておるようなものだ。その面から考えれば、政府機関を地方へ移転することも分散の一環として検討されるべきだと思う。行政の規制緩和を進め小さな政府をめざすことも言われ

が遅々として進んでいない。日本の将来を考えればこの二つは同時進行でぜひ推進して行ってほしいと思う。

☆ 10月の魁基準建値は243円/kgです

9月の電気銅建値は1～23日250円24～30日240円平均銅価は247,50円でした。10月の銅建値は240円でスタートしました。

したがって10月の魁基準建値は $(247,50+240) \div 2 = 243,75$ 円未満切捨て243円になります。価格帯は250円以下の欄になり1ランク下がります。

平成 15年11月4日

さきがけ

魁ニュース

選挙戦がたけなわである。マニフェスト、聞きなれない言葉だが公約のことらしい。今までも公約があったのでどこが違うのか定かでないが、実施時期を盛り込みより具体的にしたものといえるだろうか。小泉首相が公約を無視した実績があるので、各党のマニフェストの中身を吟味する気も起こらないが、年金問題は各党大同小異である。道路問題は自民党が公団から民営へ（いつのことやらはっきりしないが）というのに対して民主党は大都市以外的高速道路は3年以内に無料とし、道路公団を廃止すると公約して際立った違いを見せている。この大きな違いについてマスコミがとりあげず放置しているのが不思議でならない。民営化しないで国道にして国が管理していくという発想はなかなか新鮮で、そうすればどういう問題がおきてくるか知りたいと思うが、今のところまったく無視されており残念である。郵政の民営化は小泉首相の公約であるが、これについて民主党は消極的で避けているように見える。官公労の支援を失いたくないからと言われている。行政改革に先進的な考えを持つ小沢氏率いる自由党が民主党に合流したので、民主党が政権を担うようになって面白いのではないかとも思うが、この行政改革が官僚のしたたかな抵抗のため一筋縄ではいかず、どちらが政権をとっても遅々として進まないと思う。いずれにしても、10日に選挙の結果は判明するが、驚くようなことも起こらないだろう。また小泉政権が3年続き、財政赤字はますます膨らみ、国民の負担はますます重くなっていくだろう。

11月の魁基準価格は260円/kgです

10月の電気銅建値は1～13日240円14～20日250円21～31日260円で平均銅価は250円45銭でした。11月の建値は270円でスタートしました。したがって11月の魁基準建値は $(250,45+270) \div 2 = 260,22$ 円未満切捨て260円になります。11月の価格帯は1ランク上がり250円超え300円以下の価格帯になります。

☆ 亜鉛合金板「ラインジンク」のご紹介

当社では新たに亜鉛合金板「ラインジンク」を取り扱うことになりました。ラインジンクはヨーロッパで200年以上の伝統を持つドイツ・ラインジンク社の亜鉛合金板です。その成分は99,7%の亜鉛とチタン・銅などで構成されており、人工的に形成されたライトグレー色の保護皮膜により、優れた耐久性と質感を持つ屋根・壁材料です。当社ではヨーロッパで使用されている0,7mmにより、一文字「はやぶき」やシャダングルーフで加工ができます。また、スタンディングシームや菱葺きについてもご相談ください。カタログ・サンプル・取扱説明書をご用意しておりますので、営業担当者までお問い合わせください

さきがけ

魁ニュース

今年もはや12月に入り、心なしかあわただしい気分になってきた。世の中はつきりしないことだらけだが、時の刻みだけは寸分の狂いもなく進み、差も無い。世界中の人が一緒に2004年の新年を迎える。新年がどんな年になるのやら考えてもせん無いことゆえ、せめて今年の10大ニュースを思いつくまま考えてみた。笑われるかと思うが、今年の大ニュースはこれに尽きる。18年ぶりの阪神タイガースの優勝である。落ち込んでいる関西はお蔭でひととき不景気を忘れることができ元気をもらった。身近で嬉しかっただけに他のニュースと次元が違い一緒にはできない大ニュースといえよう。メジャーリーグの松井選手の活躍もすばらしく明るい話題だったが、他は暗いニュースばかりで、残念なことである。SARSの大流行、今年の冬もご用心といわれている。イラク戦争はフセイン政権を倒しただけで、平和は見えてこない。これは明らかにブッシュ大統領の失政で、ジョンソン大統領のベトナム進攻を思い出させる。どのように收拾を計るのか気に懸かることである。パレスチナとイスラエルをめぐる争いも自爆テロがやむことなく続き相互の憎しみは深まるばかりである。北朝鮮の核開発を巡る問題は来年に持ち越されるが、拉致問題も解決の糸口が見えてこない。秋の衆議院選挙は政党がマニフェストを掲げ国民の関心が高まるかと期待したが、投票率は伸びず、野党間に議席の移動があっただけといってもよい。今年もこのように明るい楽しいニュースが少なかったが、皆さんの会社やご家庭ではいかがでしたか。

当社では長年ご愛顧をいただいたお取引先に廃業されるところや倒産されるところがかなり出ました。さびしいことであり悲しいことです。このような流れが早く変わってほしいと願うばかりです。この1年、皆様より賜りましたご愛顧に心より感謝申し上げますとともに皆様方のご健勝とご繁栄を心よりお祈り申し上げます。

☆12月の魁基準建値は268円/kgです

11月の電気銅建値は3~19日270円20~28日260円で推移し平均銅価は266,66円でした。12月の電気銅建値は270円でスタートしましたので、魁基準建値は $(266,66+270) \div 2 = 268,33$ 円未満切捨て268円になります。したがって価格帯は前月同様250円超え300円以下の欄になります。